

2008年6月27日

米国ガスマーケティング会社への資本参画

三菱商事は、全額出資子会社の米国三菱商事およびエムシー・グローバルガス(MC Global Gas Corporation、以下 MCGG)を通じて、米国にてガスマーケティング事業を展開しているシーマ・エナジー(CIMA Energy Ltd、以下 CIMA)のリミテッド・パートナーシップ持分 34%を、個人パートナーの持分保有会社であるシーマ・エナジー・ホールディングス(CIMA Energy Holdings LLC)より取得し、当社としてこの度初めて同市場に本格的に進出することとなりました。

また、当社は 2009 年 1 月より米国テキサス州の Freeport LNG 受入基地の使用を開始しますが^{注1)}、同基地に当社が持ち込む液化天然ガス(LNG)を再気化した天然ガスについても、CIMA が米国内で販売を行うこととなります。

当社は、2006 年よりオマーン国のカルハット LNG 社との長期 LNG 売買契約に基づき、オマーン産の LNG を本邦を含む極東市場および米国市場にて販売しております。各市場の需給/価格変動に対応した柔軟な LNG カーゴ仕向先の決定を可能にするためには、米国にて LNG 再気化ガスの高い販売能力を持ち、いつでも米国に LNG を持ち込むことが出来る柔軟な受入体制を構築することに加え、米国向けを予定していた LNG カーゴを他市場に仕向け直す場合においても、米国内需要への代替供給となる国産ガスを調達出来る能力を持つことが重要となり、CIMA をパートナーとすることでこれら機能が補完されるものと期待しております。

また、これまで当社は、上流のガス田開発から、LNG 液化プラントへの投資・操業、LNG 船による輸送、そして LNG 受入基地に至るまで LNG 事業のバリューチェーンを伸ばして参りましたが、CIMA を通じて米国下流市場に参入することで、更なるバリューチェーンの延伸が達成されることとなります。

米国は年間約 23Tcf^{注2)}の需要を持つ巨大なガス市場であり、CIMA のような中規模ガスマーケティング会社にとって十分に成長の機会があると考えております。また、当社の展開する米国メキシコ湾におけるガス生産事業などとのシナジーも今後追求していく所存であり、本件を足掛かりとして米国内ガス関連事業を LNG 上流・中流事業に続く新たな天然ガス事業の柱として成長させることを狙いとしております。

- 注1) 基地使用契約の契約主体は MCGG
契約使用量：日量 1 億 5 千万立方フィート(LNG 換算 約 105 万トン/年)
- 注2) 2008 年 EIA 公表値、LNG 換算 約 4.6 億トン/年

以上

【シーマ・エナジー概要】

名称: CIMA Energy Ltd.
事業概要: 米国内におけるガスおよび原油のマーケティング事業並びにその他の付随関連事業
事業規模: 取扱高/ガス年間約 145 百万 MMBtu(LNG 換算 280 万 t)
本社: 米国テキサス州ヒューストン
その他事業所: ミシガン州トラバースシティ、コロラド州デンバー、ユタ州ソルトレークシティ、ケンタッキー州ルイビル、インディアナ州インディアナポリス、
代表者: Charles M. Oglesby (CEO)
設立: 1996 年

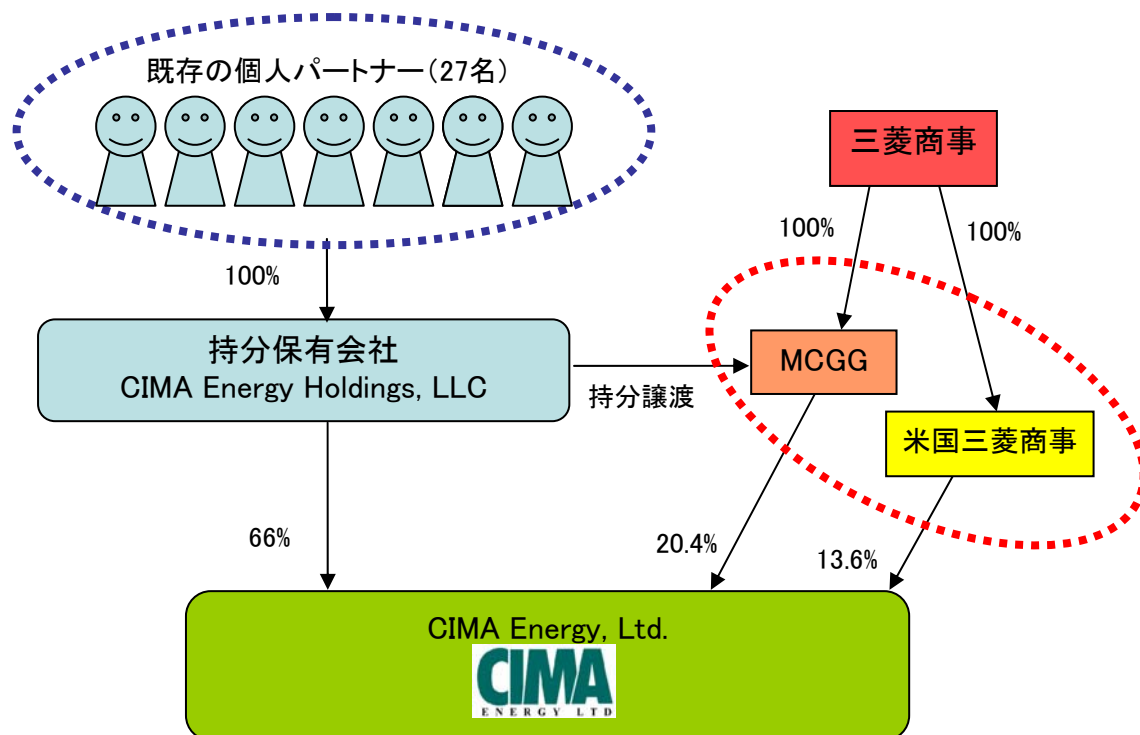
【エムシー・グローバルガス概要】

名称: MC Global Gas Corporation
事業概要: 米国への LNG 輸入、米国内ガス販売事業
本社: 米国ニューヨーク州ニューヨーク
代表者: 西海 徹雄
設立: 2004 年 12 月

添付 1: シーマ・エナジーへの出資形態

添付 2: LNG フロー概念図

シーマ・エナジーへの出資形態



LNG フロー概念図

